

令和4年1月26日

保護者 様

新城市立東陽小学校
校長 白井 稔也

新型コロナウイルス感染症感染拡大への対応について

全国的に新型コロナウイルス感染が拡大しており、新城市においても感染者数が増加する傾向が見られます。今後、市内において、児童の感染者数が増えることも考えられます。本校では、児童の安全を第一に考え、下記のとおり対応しますので、ご理解ご協力をお願いします。

記

- 1 児童に発熱等のかぜ症状がある場合は、保護者から学校に連絡を入れ、健康が回復するまでは登校を控えてください。また、児童(家族)がPCR検査や抗原検査を受ける場合も、保護者から学校に連絡を入れ、検査の結果が明らかになるまで自宅待機となります。
お子さんの体調に変化が見られた場合は、これまで同様に学校への連絡を確実に行ってください。
- 2 児童(家族)が陽性者、あるいは、濃厚接触者と判定された場合、該当児童は指定された期間、自宅待機となります。家族が濃厚接触者の場合も、陰性の結果が出るまでは自宅待機となります。
児童(家族)が陽性者、あるいは、濃厚接触者と判定された場合、学校は保健所と連携しながら、本人と家族、他の児童に聞き取り調査を行い、本人の行動履歴を把握し、他の児童と接触したか(具体的には、マスクをはずして話したり遊んだりしたことがあったか)を確認します。
- 3 学校は、行動履歴等の調査結果を校医と保健所に伝えるとともにそれらに対する見解を聞き、他の児童にも感染する心配があると判断された場合は、学年閉鎖(または休校)の対応をとり、学校における感染拡大を防ぎます。この場合、仮に陽性者(あるいは濃厚接触者)が一人であっても、他の児童への感染が心配されれば学年閉鎖等の対応をとります。

本校におきましては、上記の対応を確実に行っていくことで、児童の安全を守ります。ご家庭におかれましても、休日等、お子さんやご家族の感染防止にご協力ください。

お子さんの検温をはじめとした健康観察や学校への連絡など、保護者の皆様のご協力のおかげで、児童の安全が保たれています。これまで同様にご協力いただけますようお願いいたします。なお、対応等についてご心配なことがありましたら学校にご連絡ください。

電話 32-1039
担当 教頭 河合